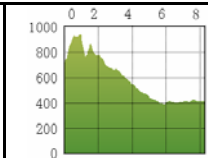


健康登山40:周辺の山20 (曾爾 古光山)

コース	榛原駅 タクシー40分 大峠 0.6km/38 南峰 0.4km/10 古光山 0.3km/21 フカタワ 0.3km/18 後古光山 0.9km/20 長尾峠 2.5km/36 東海自然歩道合流 流 1.0 / 16 葛橋 2.3km/35 曾爾村役場前					
水平距離	8.3km		断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km			
水平換算距離	9.6km					
累計高低差	登り432m、下り749m					
標準歩行時間	3 : 13					
実績歩行時間	4 : 40					



山行報告

山行日 2008・09・04 (木) 天候 曇り 午後 雨 参加者 6名

近鉄榛原駅9:27 大峠(古光山登山口)10:20~10:30 南峰11:45 古光山12:12~12:47 12:47 フカタワ13:26 後古光山14:06 長尾峠14:55 東海自然歩道と合流15:23 葛(カズラ)橋15:45 村役場前バス停16:10~16:21 榛原駅17:14(解散)

記 録

名張駅から曾爾村へ行くバスが土砂崩れで運休のため、榛原駅から行くことになるがバス便が少なくタクシーを利用した。バスで行けば終点の曾爾村役場前から登山口の大峠まで3.9km80分の登り道を歩かねばならないが、大峠までタクシーで登ったので10時30分から歩くことができた。結果的にこのタクシー利用が大正解だった。

登り始めて間もなく、下山してくる6人パーティに出会った、道が悪いので引き返すとのことだった。大峠から古光山南峰まで標高差230mを水平距離460mで直線的に登る急坂である。樹林帯だが左右が切れ落ちたヤセ尾根なので注意して歩いた。山麓に牧場があり、時々牛の鳴き声が聞こえて気持ちを和ませてくれた。

南峰は狭い岩峰で周囲の山々が見渡せた。ここから稜線のアップダウンを繰り返し12:12に古光山に着き昼食をした。南峰から見た古光山~フカタワ~後古光山に至る稜線もかなり急傾斜だった。しかし実際に歩いてみると尾根は広く要所々にフィックスロープが張られていて安心して歩けた。フカタワへ下る途中から雨が降り始めたので雨具を着けた。大展望を楽しみにしていた後古光山辺りからは雨も本降りでも見えなかった。

後古光山からの下り道は難しくはなかったが、雨で濡れた木の階段は滑りやすく注意して下った。林道の長尾峠に出たのは14:55だった。ここから曾爾村役場前バス停まで5.8kmを1時間余りで歩かねばならない。時速5km位で歩いて16:10にバス停着、予定通り16:21発のバスに乗り榛原駅へ戻った。

私たちは計画段階で水平換算距離による歩行時間の見積りをしているが、今回は大峠から長尾峠までの登山コース部分で約2倍の時間を要した。フィックスロープがある急峻な山をグループで歩く場合は時間に充分余裕を見ておく必要がある。

周辺の山（曾爾 古光山）



大峠を出発
10:30



南峰から古光山
と後古光山(右)
11:47



古光山へ向う
11:54



古光山から
曾爾高原
12:12



古光山にて
12:40



フカタワへの
急な下り坂
13:06



後古光山への
取付き
13:34



後古光山にて
14:07



東海自然歩道
との合流点
15:22



葛橋へ向う
正面は鏡岳
15:36

名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：曾爾 古光山）

参考資料、ノHP、曾爾村観光パンフ、その他より

曾爾村：奈良県の東北端、三重県境に接する村。

村の大半を占める山地は室生火山群に属し、兜岳、屏風岩などの珍しい柱状節理の美景は国の天然記念物に指定されています。

ススキで有名な曾爾高原一帯は、室生赤目青山国定公園に指定されています。

【ぬるべの郷】曾爾村は「ぬるべ(漆部)の郷」としてうたっています。

倭武皇子(日本武尊)が宇陀の阿貴山に猟に行ったとき、木の枝を折るとその木汁で手が黒く染まり、その汁を集めて持ち物に塗ると、光沢を放って美しく染まったので、この曾爾の郷に古代の職業集団「漆部造(ぬるべのみやつこ)」を置いた。

これが日本の漆塗りの始まりといわれています。

漆部の人々が曾爾川沿い一帯に住み漆塗りの原汁を採取して、朝廷(奈良平安)に奉ったそうです。

古光山 こごうやま：標高 952.7m、(別名ぬるべ山)奈良と三重の県境にそびえ、複数の峰が連なる。

玻璃質黒雲母岩や石英岩からなっています。頂上は奇岩が突き出て奇観を呈しています。

昔、天狗が住みつき、太鼓の音が聞こえたそうです。古光山の八分目に「天狗の踊り場」というところがあるそうです。

門僕神社 かどひさじんじや：雄略天皇の御代からある古社。

祭神：天児屋命、武甕槌命、経津主命、比賣大神玉祖命の春日四神と、

天手力男命、天宇受買命を祀り、中世には春日神社と呼ばれた。

延喜式神名帳(10世紀)に大和国宇陀郡十七座の三番目に比定されている

【秋祭り】10月の体育の日の直前の日曜日。(2008年は10月12日)

今井、長野、伊賀見の集落から得意の獅子舞が披露されます。伊勢神楽の流れを汲むといわれ、奈良県無形民族文化財に指定されています。

【すこ(頭甲)】人身御供の名残といわれる神饌。餅と柿を10数本束ねたサトイモの茎に餅と柿を交互7、8段の高さに刺して胴形を造り、その頂上にケイトウ鶏頭の花を飾り、乙女をかたどったものとされています。

門僕神社の曾爾村八大字の氏神の秋祭りに奉納されます。

【お葉付きイチヨウ】葉のふちに種をつける特徴がある。シダ類の特徴をもち、植物の進化の過程を考えるうえで重要な植物であり、昭和 32 年県の天然記念物に指定された。

門僕神社のお葉付きイチヨウは、幹周り 3m、高さ 35m。

イチヨウは中国中部が原産で、日本には万葉時代に入ったそうです。

室町時代には神木として、神社や寺に植えられたらしいです。

イチヨウの葉は害虫防除効果が有り、押葉にして本に挟むと、紙魚を防ぐ効果もあるらしいです

しんだけみぼし
新岳見橋：横縄バス停近く、曾爾川に架かる橋。

橋の上から鎧岳の迫力ある山容が見えるので有名。

スタンプラリー：曾爾村お薦めの、5つのコースをハイキングすると、抽選で、素敵な景品がもらえます。

スタンプ 3 個：500 円相当の記念品

スタンプ 4 個：1000 円相当の記念品

スタンプ 5 個：2000 円相当の記念品

応募締め切り：毎年 2 月末日。応募用紙(台紙)は村役場等にあります。

()内はスタンプ設置場所

高原大好きコース 「初級」曾爾高原周遊 (曾爾高原ファームガーデン)

絶景展望登山コース「中級」国見山、住塚山(オートキャンプ場)

山の空気満喫コース「中級」俱留尊山 (青少年自然の家)

健脚奇岩コース 「中級」鎧岳、兜岳 (曾爾郵便局)

ぬるべ山コース 「上級」古光山 (曾爾村役場)